

3月定例会・議案など	2～3
3月定例会・一般質問	3～7
議案等に対する各議員の賛否状況	6～7
議員の行政視察など	8
委員会等活動報告	8

令和8年1月1日から令和8年4月15日までの出来事を掲載しました。



タイトル：夏の訪れを告げる紫陽花
 撮影者：清藤 昌丈さん

議 会 ト ピ ッ ク ス

弘前市議会議員定数条例の一部を改正する条例案を可決

令和8年第1回定例会最終日の3月19日(木)、弘前市議会議員定数条例の一部を改正する条例案が議員提出議案として提出され、採決の結果、賛成多数により可決されました。これにより、議員定数は、次の一般選挙(議員全員を選ぶ選挙で令和9年を予定)から、現在の28人から26人となります。

※各議員の賛否状況については、6～7ページをご覧ください。



条例案の提出者を代表し、提案理由を説明する竹内 博之議員

議会改革の検討状況について(中間報告)

3月19日(木)の本会議において、議会改革特別委員会が中間報告を行いました。以下に主な報告を掲載いたします。

○広聴広報活動に関すること

次期改選後に、広聴広報に関する委員会の設置を議会基本条例に規定し、当該委員会において、議会報告会等の開催、SNSの活用、常任委員会の映像配信、広報誌の充実について、運用方法等を検討しながら実施していくこととし、また、それらに伴う業務量の増加が想定されるため、事務局職員の増員が必要であることについて、委員会として一致した結論を得たことから、議長に対し、答申することとした。

令和8年第1回定例会

市長提出議案 40件

【会期：令和8年2月20日(金)～3月19日(木) 28日間】

令和7年度3月の補正予算について

3月補正後の令和7年度予算

補正額
 一般会計 973億円 (42.4億円)
 特別会計 429億円 (3.1億円)

補正予算のうち、今冬の降雪に伴う除排雪経費(除排雪等業務委託料)として、18億円の事業費が追加されました。

また、災害救助法適用に基づく被災者の屋根雪の除雪などの経費についても追加されました。

一般会計補正予算第14号の事業をご紹介します

令和7年度一般会計補正予算第14号

物価高の影響を受けている市民生活の負担軽減と地域経済の好循環を図るため、プレミアム商品券発行事業費補助金を計上するもの。(事業費：8.3億円)

プレミアム商品券発行事業費補助金

プレミアム付き商品券の発行に係る費用を補助

【補助事業者】 弘前商工会議所、岩木山商工会

【販売額】 5,000円(1,000円分のプレミアム付き)

【販売対象者】 全市民

議員から、事業の概要や実施効果があると判断した根拠に関する質疑がありました。以下に市の主な答弁を掲載します。

- ・令和8年4月1日時点で当市に住民登録がある市民が対象。
- ・実施時期は6月以降を予定。
- ・プレミアム商品券の直接的な消費による効果に加えて、これまで買い控えていたものについて、プレミアム商品券がきっかけとなり、額面以上の消費の動きが出てくることが期待される。

令和8年度当初予算審査について

令和8年度当初予算

一般会計 862.9億円

前年度比較 20.8億円、2.4%減

特別会計 408.5億円

前年度比較 0.5億円、0.1%増

※3月補正後の令和8年度一般会計予算は、863.4億円(補正額0.5億円)です。

予算決算常任委員会における令和8年度一般会計予算案に対する**反対・賛成**討論の要旨を以下に掲載します。

【反対要旨】

- ・自治体情報システムの標準化は、当市の財政を圧迫しかねない
- ・市民の個人情報保護対策が極めて脆弱である

【賛成要旨】

市の喫緊の課題に対し将来を見据え重点的に予算を配分するなど、安心安全な市民生活の確保を図る市民目線に立った予算となっている

※予算決算常任委員会の審査の過程で、「令和8年度弘前市一般会計予算についての附帯決議案」が提出されました。提出理由は、市長選挙を控える年度の当初予算については、骨格予算の趣旨をより明確にし、選挙後の民意を的確に反映できる予算編成を求めるものです。採決結果は、否決となりました。

一般会計補正予算第1号の事業をご紹介します

令和8年度一般会計補正予算第1号

今冬の降雪により被害を受けた農業用ハウス、畜舎等の復旧に要する経費に対する補助金を計上するほか、りんご樹等の苗木購入等に対する助成金を追加するもの。(事業費：0.5億円)

農業用ハウス等雪害復旧緊急対策事業費補助金

今冬の降雪により被害を受けた農業用ハウス等の復旧に要する経費に対する補助

【補助率】 1/2以内

【対象経費】 農業用ハウス等の修繕・再建(撤去含む)に要する経費

雪害対策りんご園地等再生事業費助成金追加

今冬の降雪により被害を受けたりんご樹等の苗木等の購入に対する助成

【助成率】 ・苗木 2/3以内(上限:なし)

・苗木固定用単管 1/3以内(上限:苗木購入本数)
 ・枝受け支柱 1/3以内(上限:なし)

条例の制定、改正について 17件

市長提出議案のうち、条例関係は17件でした。その中から主なものをご紹介します。

○弘前市天文台条例案

弘前市天文台の設置及び管理運営に関して必要な事項を定めるため、条例を制定しようとするもの。

星と森のロマンチック
天文台が復活！



弘前市天文台（水木在家字桜井）

弘前市天文台

【設置目的】

市民が様々な天文現象を観測できる機会を創出するとともに、天文科学に関する学習の場を提供することにより、天文知識の普及及び生涯学習の振興を図ること。

【使用料】 無料

【開館時間】 金土日の午後6時～10時
※年末年始は休館

審議過程において、休館に関する議員からの質疑に対し、市からは、天体現象は曜日に関係なく発生することから、基本的な休館日は定めているが、臨時で開館する規定も設けているので、しっかりと天体現象に対応して開館していきたいとの答弁がありました。

人事案件について 1件

○人権擁護委員候補者の推薦について（2名）

田中 均氏（再任）、神 祐美子氏（新任）

議員提出議案 2件

○弘前市議会等に出頭する証人及び公聴会に参加した者の要した実費の弁償に関する条例の一部を改正する条例案

○弘前市議会議員定数条例の一部を改正する条例案

陳情 3件 ※陳情書は議員に参考配付しました。

- mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情書
- 『弘前ねぶたコンテスト審査基準』『弘前ねぶた保存基準』の撤廃を求める陳情書
- 東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情

一般質問

3月4日～9日の4日間で一般質問をした議員の質問・答弁の要約を掲載しています。QRコードを読み取ると、一般質問の録画映像を閲覧することができます。
※敬称略。()は令和8年第1回定例会の所属会派。登壇順に記載。文責は質問者にあります。



坂本 崇
(奏望会)



（仮称）弘前ふるさと偉人館の設置について

問 市の考えを問う。

答 弘前が生んだ優れた先人の功績を広く市民に伝え、次の世代へ郷土愛と誇りを伝えることのできる施設の設置については、総合計画の柱の一つである「みらいの健康」を推進するためにも、非常に重要な取組であると認識している。当市では、藩政時代から続く、津軽の奥深い

精神が脈々と息づく歴史の中で、優れた業績を残した先人を、様々な分野において数多く輩出してきた。

市としては、様々な先人を育んだ地域の文化的価値を市内外に伝え、教育・観光・地域振興を一体的に進める観点からも、「（仮称）弘前ふるさと偉人館」の設置について、その趣旨にふさわしい施設の在り方を検討しながら、実現に向けて取り組んでいく。



蛸名 正樹
(創和・公明)



今冬の除排雪について

問 道路除排雪の課題について伺う。

答 路面が冷え込みにより凸凹になる等、悪化した路面への対応が大きな課題だったと認識。除排雪は、市民の日常生活と経済活動を支える重要なインフラである。市では、持続可能で実効性のある雪対策を着実に推進し、市民が安全で安心して生活できる雪に強いまちづくりを進める。

答 今冬は、幹線農道除雪の契約の前倒し、市直営路線の一部委託化、除雪情報の発信、生産者の協働による除雪の拡充等に取り組んでいる。市では、除雪委託業者等へアンケート調査等を行い、農業協同組合等の関係団体から各地域の現状を聞き取り、課題を把握・検証し、改善できる点は早急に対応した上で、さらなる農道除雪の強化に努める。

〈その他の質問項目〉○豪雪対策本部



樋川 篤子
(弘前さくら未来)



豪雪から子供と地域を守る除雪・教育体制について

問 休校措置について、教育委員会は学校に対しどのような指示を行ったか。

答 今冬の2月上旬には市立全小中学校に対し、暴風雪等非常変災に対する特別措置に関わる出欠の扱いを確認するとともに、保護者へ向けては家庭の判断で遅刻や欠席をさせても構わないことを、改めて周知するよう通知した。

水田活用の今後について

問 国の水田対策の方向転換について、生産現場の混乱を防ぐため、市としてどのような支援を行っているのか。

答 集荷団体等と組織する弘前市農業再生協議会において、国が公表する主食用米の需給状況等についてのチラシを配布するなど、生産者の皆様が不安なく営農を継続できるよう随時情報提供している。
(その他の質問項目) ○観光振興について



野村 太郎
(無所属(東雲))



弘前市の保育について

問 令和8年度に拡充される予定の県の子育て支援交付金の活用方法を問う。

答 県の令和8年度予算案で、子育て支援交付金の拡充とともに、保育料の無償化達成を目指す旨の方針が示され、物価高騰対応分や国の無償化交付金相当額を加算して子育て支援交付金を拡充し、ゼロ歳から4歳児までの人数を基に算出した額を各市町村に配分予定。市は、この

交付金を活用し、保育料無償化の拡充に向け、速やかに具体的な検討を進める。

世界遺産北海道・北東北の縄文遺跡群

問 世界遺産登録後の遺跡群の活用状況等について問う。

答 市では大森勝山遺跡が構成資産の一つ。今年4月にガイダンス施設がオープンすることから、企画展や体験学習等の新たな取組を行い、こだわりの情報発信をSNSで展開する等の取組を進める。



竹浪 敦
(創和・公明)



消防団について

問 人口減少や高齢化が進む中で、統廃合を考えた際のメリット・デメリットはどのようなものがあるか、見解を伺う。

答 全国的には、組織を集約することで、1分団当たりの団員数を確保し、災害時の要員動員力を維持することを目的とし、分団の統廃合を実施している市町村も見られている。統廃合のメリットとして、消防屯所の集約により資機材のメンテナ

ンスや緊急時の参集、連携がしやすくなり、最新・高性能な車両や設備への投資がしやすくなることが挙げられる一方、デメリットとして、初動体制の脆弱化、管轄エリアの拡大に伴う負担増や、地域に密着したきめ細かな防災活動・地域活動の低下が挙げられる。限られた人的・物的資源を最適に活用し消防防災体制を維持するため、分団の統廃合は、課題解決を図るための方策の一つと考えている。



佐藤 哲
(滄桑之会)



今冬の除雪を問う

問 生活道路の除排雪について。

答 1月の降雪量は平年値の約1.5倍で昨冬の約1.6倍、真冬日は昨冬の3倍以上で雪が解けず降り続けた。除排雪は幹線道路を優先的に実施し、生活道路へと拡大しつつバス路線や通学路等を重点的に対応。予算額過去最大28億円理由は昨年比約2倍となる1月の除雪出勤回数と物価や人件費等の高騰が影響した。

問 JR奥羽本線の運休について。

答 奥羽本線は1月6日から2月10日までに延べ25日間運休。鉄道輸送の信頼性を損なうものと認識している。昨冬の運休を受け、秋田支社と計6回協議等を行い、2月の要望書提出時に「要望はしっかりと受け止める」と支社長から伺った。通勤や通学、観光等に利用する重要な幹線鉄道であり、冬期間の運休や遅延の解消と安定輸送確保を強く働きかけていく。



外崎 勝康
(創和・公明)



豪雪時期の対応について

問 高齢者等の買物について。

答 豪雪時期を含め、安心して暮らし続けられるまちづくりを進める。

問 通学路の安全等について。

答 道路管理者と教育委員会及び学校との間でホットラインを整備し、危険箇所迅速な把握と解消に取り組む。

投票について

問 移動期日前投票について。

答 選挙人の便宜を図り、投票率を維持向上させるための手段の一つと考える。

問 共通投票所について。

答 システム障害は、通信機器の経年劣化の可能性が高いと推測。機器を交換し、投票日にシステムエンジニアを常駐する。

ベーシックサービスについて

問 当市の考えを伺う。

答 学校給食費、幼児教育・保育、子供の医療費無償化等が当たると考える。



畑山 聡
(創和・公明)



弘南鉄道大鰐線の跡地利用について

問 今後の方向性を伺う。

答 地域住民や関係団体等からの意見を伺う場を設けるなど、利活用の在り方を検討していく。

指定ごみ袋制について

問 ごみ処理の広域化において、弘前市が指定袋制度を採用していなくても、各市町村の費用負担は公平となるのか。

答 市町村ごとの施策の違いがあるとし

ても、弘前地区環境整備事務組合の施設建設や管理運営費用は、ごみ搬入量に応じて公平に負担しているものである。

上下水道料金について

問 令和7年5月の値上げに加え、今後、令和10年、そして令和13年の計3回の値上げを予定していることで間違いはないか。

答 急激な料金引上げによる市民生活への影響をできるだけ抑えるため、段階的に3回に分けて料金改定を実施していく。



齋藤 豪
(奏望会)



弘前市におけるりんご産業の重要性

問 生産現場の高齢化や担い手不在等による耕作面積の縮小や生産量の維持・確保等の課題も生じているが市の見解は。

答 令和8年度予算で、新たに農地を取得した上で国または市の改植事業を活用し栽培面積の拡大を図る生産者を支援する、りんご園等規模拡大促進事業費補助金を新規で計上したほか、担い手確保の取組として、自衛官やスポーツ選手のセ

カンドキャリアや大学生の就職先をターゲットに就農を促進する、ひろさき「めぐり」キャリアサポート事業を実施予定。次世代がりんご作りで生活したいと思える未来をつくるため、日本一を誇る当市のりんご産業を維持・発展させていく覚悟を持ち、諸課題の解決に向け取り組む。

〈その他の質問項目〉

- りんご園地の雪害状況と今後の対策
- 有害鳥獣被害と今後の対策



成田 大介
(弘前さくら未来)



公共交通について

問 冬期間におけるバス路線の運行体制について伺う。

答 今冬の豪雪ではバス路線での運行が困難となり、迂回や運休が生じたため、バス路線や通学路の除排雪を優先的に行うよう指示してきた。今冬の対策として、市地域交通課では、まずは一日でも早く通常運行となるよう、弘南バスからの運行情報を基に、路線バスが運行できない

要因や改善内容を整理した上で定期的に市道路維持課へ情報提供し、バス路線の除排雪を効率的に行うなど、弘南バスと市の担当部局間で連携を図ってきた。市では、弘南バスとの連携をより一層強化し、雪による路線バス運行への影響の軽減を図り、利用者の方々が必要な情報を適時適切に把握できるよう検討していく。

〈その他の質問項目〉

- 居場所支援について
- 教育行政について



志村 洋子
(創和・公明)



子供の健康について

問 肥満予防対策について取組を伺う。

答 1歳6か月児健診、3歳児健診で肥満度15%以上の子供の保護者に栄養士による栄養指導を実施し、半年後には電話等で指導もしている。市独自に「20代・30代健診」を実施し、生活習慣の見直しや改善が必要な方には個別で保健指導を行う。今年度からは健診結果で肥満症リスクの高い方が専門医療機関で治療が受

けられるよう、受診体制の構築や受診勧奨及び保健指導を実施している。子育て世代の20代・30代の方が子供の健康への気付きにもつながるものと考えている。教育委員会では、小中学校の9年間で取り組む「健康教育コアカリキュラム」など健康教育を推進している。

〈その他の質問項目〉

- 身寄りのない高齢者支援について
- 災害への備えについて

一般質問の写真は、過去に撮影した写真も含めて使用しています。
QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

令和8年第1回定例会日程（28日間） 傍聴者数：47人

2月20日(金) 本会議	開会、会期の決定、提案理由の説明	3月11日(水) 常任委員会	建設、総務、厚生、経済文教
2月21日(土)～3月3日(火)	議案熟考	3月12日(木)～3月13日(金)	
2月26日(木) 常任委員会	経済文教	常任委員会	予算決算
3月4日(水)～3月6日(金)		3月16日(月)～3月17日(火)	
本会議	一般質問	常任委員会	予算決算
3月9日(月) 本会議	一般質問、議案付託	3月18日(水)	議事整理
3月10日(火) 特別委員会	議会改革	3月19日(木) 本会議	各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会



工藤 裕介
(弘前さくら未来)



学校給食のさらなる充実と地産地消の推進について

問 有機農産物や地場産物をより活用した給食の提供について。

答 有機農産物は、通常の農産物と比べて高い価格で、有機栽培の米も同様の傾向。食材が高騰している中、有機農産物の使用は、慎重に考える必要があると認識。引き続き、有機栽培の推進等に係る農業政策の動向等を注視しながら、地産

地消に努め、おいしい給食を提供する。

問 地域内経済循環を高める食材調達方法について。

答 りんごジュースの調達は、今年度は市内業者1者と県内業者2者の入札で、近隣自治体の業者による落札が多くなっている状況。より多くの市内業者に入札に参加してもらえるよう、契約数量を学校給食センターごとに分ける等の工夫を検討し、市内業者の活用に留意する。



松橋 武史
(滄桑之会)



櫻田市長の政治姿勢について

問 櫻田市長は、先般の施政方針においてこれまで様々な施策を実施してきたと述べているが、そのほとんどは誰が市長であっても実施できたことであると認識している。昨年の12月議会で市長選出馬の有無について質問した際、弘前市民のためを考えた場合、自らの出馬よりもまずは地域経済の活性化に向けてしっかりと進めていくと答弁しているが、市長が

出馬表明をした2月11日は、市民からの除排雪への苦情対応や衆議院の解散などで激務であったと想定される。そのような中において、3期目の出馬を決意したのはいつであったのか。

答 4月の市長選への出馬表明については、国の経済対策への対応や令和8年度予算の編成などにしっかりと注力し、一つのめどが立ったタイミングで行ったものである。



木村 隆洋
(創和・公明)



令和8年度予算案の編成方針について

問 どのような考えで作成したのか。

答 予算総額は過去最大となった7年度予算に次ぐ862億9000万円で、物価高や雪対策など市民生活に直結する事業の予算の増額が主な要因。骨格予算に盛り込んだ12の重点施策は、中心市街地再生に向けた取組など、早急に取り組むべき施策として重点的に予算を配分している。

歴史的資源を活用した観光まちづくりに

関する連携協定について

問 連携協定が終了した経緯を伺う。

答 分散型ホテル構想の具体化に向けた調査・検討等を行い、結果の取りまとめ後に協定の取扱い等の協議を進め、調査・検討活動が一区切りを迎えたため2月19日に全協定参加団体が合意し令和7年度末で協定を終了することとした。

〈その他の質問項目〉○健康都市弘前の実現に向けた取組について



工藤 光志
(弘前さくら未来)



教育長の教育姿勢について

問 就任当初の義務教育に対する思い、義務教育理念、施策の検証について伺う。

答 一貫して取り組んできた教育姿勢は、「国際人を育てること」で、海外で活躍する人だけを指すのではなく、一生涯を日本で生活する人にこそ、世界にも誇れる優れた人物に育ててほしいと期待するもの。この考え方を基本として、教育委員会の方針は「みんなが学ぶ、みんなと

学ぶ、みんなに学ぶ」とし、国や県において新時代に求められる能力として重要視している「主体性」をはじめ、コミュニケーション能力などの「協働性」「多様性尊重」を方針の中心に据えたものである。特に、「みんなが学ぶ」と表現した主体性の育成については、学校教育・学校環境の整備・生涯学習・文化財の保存と活用促進という四つの分野に分けて重点的に取り組んできたところである。

議案等に対する各議員の賛否状況

賛否が分かれた議案等のみ掲載しています。○は賛成、●は反対、退は退席、欠は欠席、一は採決に加わらなかったものです。

※議長（尾崎寿一）は採決に加わっていません。

議案等名	採決結果	須藤江利加	工藤裕介	志村洋子	三浦行	工藤賢生	竹内博之	樋川篤子	竹浪敦	成田大介	坂本崇	齋藤豪
令和8年度弘前市一般会計予算	可決	欠	退	○	●	○	退	退	○	退	○	○
令和8年度弘前市介護保険特別会計予算	可決	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
弘前市議会議員定数条例の一部を改正する条例案	可決	欠	○	○	●	●	○	○	○	○	●	●
議案第11号令和8年度弘前市一般会計予算についての附帯決議案	否決	欠	○	●	●	●	○	○	●	○	●	●



三浦 行
(日本共産党)



今冬の大雪の災害救助法適用について

問 今冬の適用は何世帯か。

答 169件が災害救助法に基づく屋根の雪下ろしの実施対象となり、弘前建設業協同組合、弘前管工事業協同組合、弘前塗装工業会等の事業者への業務委託のほか、弘前地区消防事務組合やボランティア団体により屋根の雪下ろしを実施した。

大雪被害への農業支援について

問 苗木の購入費補助は。

答 今冬の雪害に係る苗木についても支援をする方向で検討している。

図書館の図書購入費について

問 新しい図書の購入は。

答 令和6年度は1万1172冊を購入。元の書籍販売業者から郷土資料などの出版情報を収集するとともに、利用者からのリクエストなど、市民のニーズや地域性を考慮した上で、複数の司書により選定された図書を購入している。



須藤 江利加
(日本共産党)



弘前市の保育行政について

問 経済的負担を一層軽減する姿勢が求められていると考えるが、市の見解は。

答 18歳年度末までの子供医療費完全無償化、ひろさき出産・子育て応援事業による現金給付、国の制度では無償化とならないゼロ歳から2歳児まで児童の保育料を、市独自に国の定める基準額から平均で4割程度軽減など、経済的負担のさらなる軽減を図っているところ。保育料

の無償化については、令和8年度に拡充される県の交付金を活用し、保護者の経済的負担軽減に寄与する方策として、保育料の無償化対象の拡充に向けた具体的な検討を進めているところで、完全無償化を実現したいと思っている。市では、経済的負担が軽減された実感してもらえるよう、実効性のある施策を推進する。
〈その他の質問項目〉○保険薬局への無料低額診療 ○弘前市の自殺対策



竹内 博之
(弘前さくら未来)



櫻田市政2期8年間の検証について

問 今冬の豪雪における市長の危機管理能力と危機管理体制について伺う。

答 今後も継続して市ホームページ、公式LINE、フェイスブック、エックスはもとより、弘前記者会への情報提供、FMアップルウェーブなど、その都度有効な媒体の活用を凝らし、市民の安全安心を第一として情報発信に努める。

令和8年度骨格予算における政策経費の

取扱いと説明責任について

問 市長選挙を踏まえた当初予算編成の考え方と、その基準を明らかにせよ。

答 令和8年度予算は、行政の継続性の確保に加え市民生活への影響や事業効果の観点から、市政の安定的な運営に資する政策的経費については骨格予算に含めたほか、社会経済情勢の変化にスピード感を持って対応が必要な経費についても予算化し、一部は骨格予算に計上した。



千葉 浩規
(日本共産党)



国民健康保険について

問 令和8年度からの保険料率改定により、二つのモデルケースで、前年度との対比でいかほど減額になるのか。国保財政調整基金の今後の推移について答えよ。

答 条例改正案の保険料率による保険料額を「30代夫婦と小学生2人の4人世帯で所得200万円」の場合と比較すると1万7300円の減額、「68歳の2人世帯で所得150万円」の場合と比較すると1万700円

の減額と、それぞれ試算している。今後の国保財政調整基金の推移は中長期的には減少していく見込み。歳出が歳入を上回り令和8年度以降は単年度赤字が継続する可能性が高く、財政調整基金を充当しながら運営していくと見込んでいる。

〈その他の質問項目〉

- 次期一般廃棄物処理基本計画の策定
- 中心市街地活性化
- 天守曳戻しによるまちのにぎわい創出

令和8年第1回定例会審議結果

議会での慎重審議により、承認、可決、同意となりました。

- 市長提出議案 40件 (予算関係19件、条例関係17件、その他4件)
- 議員提出議案 2件 (条例関係2件)、○議員発議 1件

姓名	畑山 正樹	石山 敬	木村 隆洋	千葉 浩規	野村 太郎	外崎 勝康	尾崎 寿一	蒔苗 博英	松橋 武史	三上 秋雄	佐藤 哲	工藤 光志	清野 一榮	田中 元
退	退	○	欠	●	○	○	—	○	○	○	退	○	○	○
○	○	○	欠	●	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	欠	●	○	○	—	○	○	●	○	○	○	●
●	●	●	欠	●	●	●	—	●	○	●	○	退	●	●

**議会を傍聴
しませんか**

議会(本会議、委員会など)は原則、どなたでも傍聴でき、市役所前川本館4階で受付しております。本会議及び予算決算常任委員会は、インターネット中継のほか、市役所前川新館1階市民ギャラリーのモニターテレビで中継放送もしております。

次回定例会日程(予定)

- (5月29日(金) 議会運営委員会 | 会期日程等の協議)
 - 6月5日(金) 開会日(本会議) | 開会、会期の決定、提案、理由の説明
 - 7月1日(水) 閉会日(本会議) | 各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会
- ※日程については、議会開会前に弘前市議会ホームページ等でご確認ください。

新市議会議員をご紹介します



- わたなべ かほ
 ① 渡辺 果歩
 ② 弘前さくら未来
 ③ 城西三丁目8-2



- かくた しの
 ① 角田 しの
 ② 無所属
 ③ 八幡町二丁目7-10

令和8年4月12日(日)に投票が行われた弘前市議会議員補欠選挙において渡辺 果歩氏、角田 しの氏が当選となりました。

記載内容は、①氏名、②所属会派名、③住所です。(4月15日現在)

なお、議員の任期は、令和9年4月30日までです。

委員会活動報告

議会運営委員会

- 1月26日(月)～28日(水) 行政視察
 ○広島県広島市 政策立案検討会議について
 議会改革推進会議について
 ○福岡県春日市 議会基本条例・議会評価について
 広報広聴委員会について

総務常任委員会

- 1月30日(金) 市役所
 ○人口減少対策に係る出産・子育て施策について
 3月11日(水) 市役所
 ○人口減少対策に係る雇用・産業施策について

経済文教常任委員会

- 2月10日(火) 市役所
 弘前市農業再生協議会との懇談会
 ○水田政策について
 2月26日(木) 市内りんご園地(弥生、紙漉沢)
 現地視察及び意見交換
 ○りんご園地の雪害状況調査について

建設常任委員会

- 1月20日(火)～23日(金) 行政視察
 ○宮城県多賀城市 上下水道対策について
 ○岡山県倉敷市 「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりについて
 ○大阪府東大阪市 空き家対策について
 2月12日(木) 市役所
 弘前建設業協会との懇談会
 ○除排雪について

ひろさき市議会だより編集特別委員会

- 1月29日(木) 市役所
 ○掲載内容について
 3月19日(木) 市役所
 ○掲載内容について ○編集日程について
 ○その他について

委員の選任について

石岡千鶴子議員の委員辞職に伴い、令和8年1月23日付けで委員の選任がありました。

○議会改革特別委員会 野村 太郎議員

会派一般行政視察

日本共産党

1月18日(日)～1月20日(火)

- ①愛知県安城市 ケンサチeフェス事業の取組について
 ②愛知県豊田市 衛星画像を活用したAI漏水調査の取組について



安城市にて

奏望会

2月4日(水)～5日(木)

- ①愛知県犬山市 犬山市観光戦略について



犬山市にて

議会改革特別委員会

- 1月14日(水)～16日(金) 行政視察
 ○石川県加賀市 議会の機能性について
 ○石川県野々市市 高校生議会の取組について
 1月30日(金) 市役所
 ○行政視察の総括について
 ○通年議会に関することについて
 ○広聴広報活動に関することについて
 ○議会及び常任委員会の機能強化に関することについて
 ○次の委員会の開催日について
 2月17日(火) 市役所
 ○広聴広報活動に関することについて
 ○次の委員会の開催日について
 3月10日(火) 市役所
 ○本会議における中間報告について
 ○次の委員会の開催日について

表紙写真大募集!!

次号のテーマは

弘前市内の懐かしい・エモい写真



- ◎弘前市内で撮影された写真
 ◎規格 デジタル写真データ(横撮り)
 ◎応募資格 弘前市に在住・在勤・在学の方
 ◎応募方法 写真タイトル・撮影場所・撮影日・住所・氏名・電話番号を明記の上、ご応募ください。
 ◎締め切り 令和8年7月10日(金)
 ◎掲載時期 令和8年9月発行の第87号
 ※応募の詳細は、弘前市議会ホームページでご確認ください。



表紙写真募集のページ